

大規模災害時の燃料の安定確保のために

東日本大震災発生直後、給油所の店頭では、長い順番待ちの行列が道路にまでおよび混乱が生じ、緊急車両や自家発電装置の燃料の確保が大変難しい状況に陥りました。

このことから、この度、町では重油や灯油などの燃料を安定確保するために、赤沼地区に10月に開業した「絆ネットセンター」と防災協定を締結しました。

本センターは、石油製品卸の伊藤忠エネクス株とその系列会社のエネクスフリース株が運営するもので、太陽光発電や蓄電池、自家発電装置を事務所に備え、停電時でも燃料の供給が可能なことや、店頭での一般販売を行わないため、震災時の教訓を生かせると期待できるものです。

防災協定調印式は、絆ネットセンター開所式に合わせ、9月28日(金)に行われました。

写真左から伊藤忠エネクス株代表取締役社長 岡田賢二様、鈴木町長、エネクスフリース株代表取締役社長 柏口守様により調印が行われました。

また、この調印式の後、運営会社のエネクスフリース株より、復興事業に役立ててほしいと寄付金100万円をいただきました。



広報 りふ

今月の主な内容

「十符の里-利府」フェスティバルが開催されました
11月は児童虐待防止推進月間



2012
No.448
NOVEMBER **11**

Public Relations URL <http://www.town.rifu.miyagi.jp> E-mail rifu@rifu-cho.com

利府町
震災復興
テーマ

あす
未来へつなぐ「絆」 ～再生から発展へ～